

能登の豪雨被災地へ「TEC-FORCE」を派遣



令和6年9月24日（火）、立山砂防事務所は石川県能登地方の豪雨災害対応のため「緊急災害派遣隊（TEC-FORCE）」として職員3名を派遣しました。

石川県能登地方では、9月21日（土）からの記録的な豪雨により甚大な被害が発生しています。派遣された3名は砂防第1班として1週間滞在し、被害状況の調査等を行います。



出発式の様子（立山砂防事務所）



職員の見送りを受け、能登へ出発



事務副所長より激励の言葉



隊員代表の決意表明

能登地方の豪雨について

令和6年9月21日（土）から22日（日）にかけて奥能登を中心に線状降水帯が発生し、24時間雨量が輪島市で412mm（時間最大雨量121mm）、珠洲市で315mm（時間最大雨量84.5mm）となる記録的な豪雨に見舞われました。約2ヶ月分の雨が1日で降った事により、急激な増水による河川の氾濫、土砂崩れなど甚大な被害が発生しました。

※20日午後6時から22日午後4時までの総雨量 輪島市：498.5mm
珠洲市：394.0mm

レーダーによる雨雲の状況（日本気象協会ホームページより）

